

令和7（2025）年度

地域学校協働活動推進員パワーアップ講座②実施報告

実施日：令和7（2025）年11月18日（火）

地域学校協働活動推進員パワーアップ講座の第2回を開催しました。今回は、三鷹市教育委員会統括スクール・コミュニティ推進員 四柳 千夏子氏を講師にお迎えし、講話と演習を行いました。

講話・演習「コーディネート機能のパワーアップ！」

～コーディネーターとしての活動の幅を広げよう～

三鷹市教育委員会統括スクール・コミュニティ推進員 四柳 千夏子 氏

コミュニティ・スクールでは、学校運営協議会を機能させることができることを学びました。その中で学校や子どもたちの困り感の解決が地域課題の課題解決につながり、それを実現させていくのがコーディネーターの役割であるという説明がありました。



また、学校と連携・協働を図るために、先生方が「コーディネーターに頼んでよかった」と思える小さな成功体験を積み重ねることが、必要であるという話もありました。

まとめとして、統括的なコーディネーターとして、「2, 3ヶ月先を見ること」「全体を俯瞰して見ること」「困っているコーディネーターがいたら、本当の課題はどこにあるのか会話しながら見つけてあげること」などのポイントが示されました。コーディネーターとしての役割とその価値を再確認する時間となりました。

情報交換・協議「コーディネーターとしての活動の充実に向けて」

まず、午前中の講話・演習での新たな気づきや、再確認したことについて、グループでの共有を行いました。その後、学校と地域の連携、協働に関してそれが行っている活動についての情報交換を行いました。活動の概要と、その活動についての地域資源について話合いました。それらの情報を基に、統括的なコーディネーターとして、市や町の子どもや大人のために、今後取り組んでいきたいことをグループごとに考え、発表しました。これまでの活動を振り返ると共に、コーディネーターとしての活動の充実に向けて、今後何ができるのか熱心に考える姿が見られました。



【受講者の感想から】

- 四柳先生が、普段の活動で感じていることを言葉にしてくださいました。日々の活動の積み重ねをこれからも大切にしていきたいです。
- 四柳先生の講話では、現場での経験やコーディネーターとしての実話を交えながらお話しいただき、学校支援コーディネーターの役割について深く理解することができました。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206

e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp